

平成19年6月1日
(2007)
第73号
毎月発行
編集
公民館だより編集室
発行
西東京市保谷公民館

西東京市 公民館だより

田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825
谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855
保谷公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211
住吉公民館 住吉町6-1-25 TEL 421-1125
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011



昭和30年頃の大会の様子

田無仮装大会 で街興へ

かつて青梅街道周辺を舞台に繰り広げられた、仮装大会がありました。昭和28年から毎年夏、8回にわたって行われた「田無仮装大会」。見物客が押し寄せ、あまりの賑わいで中止を余儀なくされたといえます。このイベントを6年前に復活させた人達がいま、田無商業協同組合の面々の、商店街活性化に向けた挑戦です。

この周辺のお盆は、7月30日〜8月1日です。昔、養蚕が盛んでお盆を迎える伝統から、この時期に定まりました。

総持寺(田無町3丁目)でも昭和5年頃から盆踊り大会が行われていました。盆踊りが仮装大会に発展したのが54年前のこと。

「自雷也」や「ゴジラ」の大道具とともに現れる出場者。地元商店主たちも、仕事そっちのけ



復活した今、幅広い参加者が

で3か月も前から準備しました。その大イベントがなくなっていました。

40年。商店街は課題を抱えていました。

青梅街道沿いに連なる商店街は、かつて田無が宿場町だった頃からの伝統を誇ります。最も古い店は300年以上の歴史を持ち、創業80年程の老舗が多くあります。

それぞれの店はなじみのお客を持っていますが、他の店に立ち寄るまでには至らない、「商店街を歩いてくれない」のが悩みでした。駅前再開発や不況の影響とも相まって、商店街に活気が欠ける要因だと感じていました。また、商店街が道路で分断されていることも悩みの種です。

仮装大会を復活させよう、と言いだしたのは商業協同組合の当時副理事長の野島正弘さん。平成13年、大会が復活、商店街の面々自ら、山車とともに練り歩きました。以後、出場者は年々増え、昨年は団体、個人合わせて40組に達しました。市外からの出場も多数あります。

野島さんは「古くからの商店街だからこそ協力体制ですよ」

昔は盆踊りの場合は、若い世代の出会いのきっかけにもなっていました。そんなふうに、今の青年層の参加も期待しています。

「夢は、ドイツ・ブランドのパレードみたいにするんだね、俺、見たことないけど」

野島さんはそう言って笑いました。

*今年も8月1日(水)午後6時から、仮装大会が行われます。問合わせ、参加申込みは、田無商業協同組合事務局 ☎461・3623

サークル訪問 〜チエルアルコ〜

「チエルアルコ」とは、エスペラント語で「虹」という意味で、リコーダー(縦笛)の合奏サークルです。リコーダーは学校の音楽の授業で教材としてもなじみです。もともとはパロッド音楽で重要な楽器で、ヘンデルやバッハもリコーダー用の曲を作っています。

平成17年2月、谷戸公民館主催で「リコーダーでポピュラー」と題した講習会が開かれました。その参加者を中心になって活動しているグループです。現在は小学5年生のたまみちゃんから、唯一の男性で最年長の西田さんまで、8人のメンバーです。30センチのソプラノリコーダーに、アルト、テナー、バスリコーダーは1メートル以上に及びます。その4種のリコーダーでアンサンブルを楽しんでいます。

「楽器もその音も素朴で、喧騒を忘れて心が休まります」と西田さん。森本さんは「初心者でもすぐ音が出るのもリコーダーの魅力です」

「小学生のときから好きでした。子どもも成長して、何か趣味を、と思っていたところで

リコーダーに再会しました」と語るの代表の下川さんです。ソプラノとテナー、アルトとバスを同じ指使いで演奏します。「とっさに頭が回らず逆の指使いをしてしまうこともあります」

「それが指の運動になって、きつと健康にもいいんです」

たまみちゃんも「簡単そうでも合わせるの難しい」

レパートリーは幅広く、ピバルディなどのクラシックも、「エデンの東」「ムーミンリバー」などポピュラーも演奏します。

昨年は谷戸まつりでも発表した他、これまでコール田無、稲城市や多摩市でも演奏する機会を得ました。全員ステージでは無心で息を合わせ、音楽を作る心を大切にしています。

毎週火曜日あるいは土曜日の夜、谷戸公民館を中心に練習しています。月1回は指導者を招いています。

現在、新会員募集中です。初心者歓迎。

連絡先 下川 ☎468・2508

